

80力所を同時計測

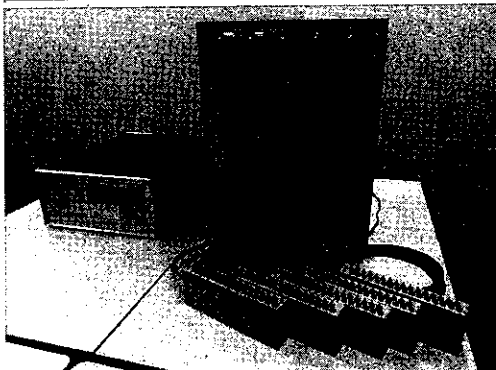
ツクバリカセイキ 圧力測定システム

【水戸】ツクバリカセイキ（茨城県つくば市、浜和伸社長、029・864・8230）は、自動車などの物体表面にかかる圧力分布を測定する「多点圧力同時計測システム」を開発した。標準仕様で80力所を計測でき、80チャンネルの標準仕様価格は980万円（消費税抜き）。本システムは同程度の機能を持つ他社従来品より約2割安く、多点圧力の同時計測をいっそう普及させたい考え。大学の研究室や自動車メーカーなどに導入を提案し、初年度に4000万円の売り上げを目指す。

車メーカーなど照準

本システムは本体にケーブルの先端に圧力センサーを付し、ケーブルを付したセンサーを被験体（セン

計	0.8)
	V2.0)
	V1.4)
	V7.3)
	6.4)
	5.3)
	36.2)
	7.7)
	V5.3)
	1.4)
	4.9)
	9.0)
	4.7)
	8.1)
	1.2)



サーを本体から独立させたことで、測定したい箇所の近くにセンサーを置くことができ、データをより素早く正確に取得できる。サンプリング周波数は同価格帯の他社従来品の約10倍となる1キロヘルツで、データ取得の精度をより高くした。出力するデータはデジタルとアナログのどちらでも可能で、ユ

ツクバリカセイキが開発した多点圧力同時計測システム

「サー」の作業環境に左右されずにデータを確保できる。気温などの外的要因によって生じるセンサーの誤差を補正するためのキャリブレーションも設けた。測定箇所は80点ずつ加えることができ、最大400点まで設定が可能。80チャンネルごとに追加で300万円強かかる。ツクバリカセイキは、圧力センサーにおける圧力を感じるチップなど複数の構成部品に既製品を使用することにより安価を実現した。

光ダイオード（LED）向けの赤色蛍光体を東京工業大学、名古屋大学と共同で開発した。波長域315ナノメートルの光のみを吸収し、赤色光に変換。さまざまな色の蛍光体の配合比を決めるだけで、色ずれせず安定した白色

レクサス「RX」一部改良

3列シート追加設定



トヨタ自動車は高級車ブランド「レクサス」のスポーツ多目的車（SUV）「RX」を一部改良して発売した。新たに3列シートを設定したロングバージョン「RX450h」を追加設定したSUV「RX450hL」。

トヨタ自動車は高級車ブランド「レクサス」のスポーツ多目的車（SUV）「RX」を一部改良して発売した。新たに3列シートを設定したロングバージョン「RX450h」を追加設定したSUV「RX450hL」。

直噴ターボチャージャー（過給器搭載の「RX200t」は名称を「RX300」に変更した。価格は497万2000円（消費税込み）から、月間55万円の販売を目指す。ハイブリッド車（V）の「RX450h

11月中古車1.2%増
7カ月ぶり日産マイナス

貨物車は同1.8%減の3万637台と4
輸出抹消登録台数